

デザイン美術コース1年H組
保護者様

橘学苑高等学校
校長 外西俊一郎

高1デザイン美術コース校外学習

第359回本物との出会い 岡本太郎美術館、日本民家園鑑賞のお知らせ

晩秋の候、保護者の皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、この度、美術科の授業の一環として次のとおり校外学習を実施いたします。今回の本物との出会いは、「川崎市岡本太郎美術館」と「日本民家園」で行う鑑賞です。両方とも、生田緑地にある施設で自然環境に配慮した美術館と古民家を移設保存しているものになります。生田緑地の歴史、岡本太郎美術館が川崎市にある理由、民家園の元の場所と現在の場所との関係などに触れ、新しい目・観点を見いだした岡本太郎の精神に触れる機会にしたいと考えました。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

1. 期日 令和5年年11月14日（火）

2. 対象クラス 高1 H組 計43名

3. 実施場所 川崎市岡本太郎美術館

〒214-0032 川崎市多摩区枳形7-1-5 TEL 044-900-9898

小田急線向ヶ丘遊園駅から徒歩17分

4. タイムスケジュール

9:30 向ヶ丘遊園駅に集合 点呼後に徒歩で移動17分

10:00 美術館入場

10:00～12:00 学芸員による常設展のガイダンスと鑑賞、絵画・彫刻のスケッチ 企画展鑑賞

12:00～12:30 昼食

12:30～13:30 岡本太郎の考えていたこと、企画展出品者が表現したことはどんなことかを討論する。

13:40～15:30 川崎 日本民家園鑑賞と江戸時代の民家を太郎の絵画・彫刻のスケッチ作品と重ねてスケッチ

15:30 向ヶ丘遊園駅に移動

16:00 向ヶ丘遊園駅で解散予定（現地解散）

5. 目的

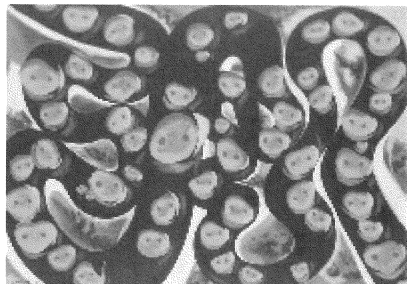
- ・多様な芸術作品と出会い、自分の美意識、価値観を向上、確立させる機会とする。
- ・芸術作品は突如として世に出てくる物ではなく、それまでの歴史を踏まえて登場し、評価を受ける物であるという、芸術作品誕生の源流を知る。
- ・2024年3月に予定している民芸館鑑賞時に、井の頭線渋谷駅のエントランスに設置してある岡本太郎作「明日の神話」鑑賞の事前学習として、岡本太郎の芸術の概要を知る機会とする。
- ・高2での海外研修を視野に入れて、日本の風土や美術、海外の風土や美術を多角的に鑑賞する場をもつ。
- ・時代を交差する作品の制作法を学ぶ。縄文時代の火炎土器、江戸時代の民家、岡本太郎の生きた時代と作品、岡本太郎美術館が生田緑地にあることについて、何層にも重なる時を作品化する取り組み。

☆上記の取り組みを通じて、自分の視野を広げ、進路への考えを深め、自身の作品に厚みが出ることを期待する。

6. 費用 川崎市岡本太郎美術館、日本民家園共に入館料は減免措置を行い無料です。交通費はご家庭でご負担ください。

7. 持ち物 美術鑑賞手帳、昼食、筆記用具、絵の具セット、ペットボトルに水を汲んでくる。
カメラ（美術館内は鉛筆のみ使用可。ボールペン等は不可）
8. 引率 生徒指導部長 渡邊 猛 美術科 平町公
9. 当日の連絡先 090-6187-7674（学校の携帯電話）

・川崎市岡本太郎美術館について
常設展



岡本太郎とスポーツ

岡本が野球やゴルフなどのスポーツに興じている姿をときたま目にします。特に、46歳で始めたと言うスキーについては、瞬間瞬間に命を懸けて斜面に身を投げ出す緊張感の虜になり、毎シーズン、制作や執筆などの忙しい日々を縫って雪山に通いました。雪山を前にひとりで「危険に向かい勇気をもって己れをひらく」姿勢は、芸術や生き方に対する岡本の指針と共通するものがあります。本展では、「岡本太郎とスポーツ」をテーマに、岡本が競技場等のために手掛けた作品や、岡本にとっての「スポーツ」にまつわる作品をご紹介します。

企画展

TARO 賞の作家Ⅲ 境界を越えて

シリーズの第3回となる本展では、「境界」をテーマに内海聖史、大西康明、若木くるみの3名の作品を展示します。色彩豊かな絵画作品を制作する内海聖史。内海は、絵画は画面だけで完結するものではなく、空間の中にさまざまに配置することで、観る者の動きや感覚に働きかけるものとして、絵画のあり方を問いかけます。「あること」と「ないこと」の関係性を、一貫したテーマとして作品を制作する大西康明。私たちの日常の中に確かに在りながら、捉えられない事象を作品によって顕在化します。大学で木版画を学んだ後、自身が作品の一部となるパフォーマンス作品で TARO 賞に参加した若木くるみ。森や波などの自然や日用品など、私たちの身の回りにある多様な素材を使い、版画の可能性を探ります。

内海聖史	大西康明	若木くるみ
		

・日本民家絵について

	日本民家園は古民家の野外博物館です。江戸時代の民家など25の文化財建造物を移築・展示しています。
---	--

問い合わせ：

橘学苑高等学校

デザイン美術コース長 平町公

電話 045-581-0063